

Show Our Campus!!

	代表者	西本	唯真（人文B3年）
構成員	森野 美由紀（人文B3年）	松下	真子（人文B3年）

1. プロジェクトの目的

学内案内と新しい地図の作成を実施することで、学内活動における移動に関する時間の浪費と不安を解消する。

2. プロジェクトの内容

必要に応じて一人ひとりに合わせた学内案内を実施する。既存の学内マップは数多くあるが、建物の表記が立体で位置が把握しづらいものや記載されている情報が現在の学内状況と一致していないもの、ピクトグラムがないものなど、利便性と実用性に欠けるものがほとんどである。そのため、現状に適した地図となるように、大学で生活する上で必要な情報を盛り込んだよりわかりやすい、学生目線のマップをイラストレーター使用の上で作成する。以上二つにより、構成員のコミュニケーション能力の向上と山口大学への理解を深め、来学者および山口大学の学生のアクセシビリティ支援と不安解消に資する。

3. 活動状況

3.1 フランス留学生への学内案内活動

大学見学に来られたフランスからの留学生の方への学内案内を実施した。初め、人文学部について詳しく知りたいとのことだったが、落ち着いて話を聞くと「英語の講義が多いところがいい」など、彼女の知りたいことが徐々に明確化した。そこで、人文学部以外にもこのような学部があると紹介すると国際総合科学部に興味を持たれた。詳しく知りたいとの要望に応え、国際総合科学部の学務へ案内した。本当に志望したい学部が決まり、「本当にありがとう、あなたが一番親切だった」と御礼の言葉をいただいた。知りたかった情報を得ることができて満足した様子で帰宅された。この件で、学生ならではの学内案内を実施することができ、対話を通じた丁寧な学内案内の重要性を再確認した。

3.2 仮地図の作製

大学内を歩いて実地調査を実施した。従来の大学ホームページで配布されている地図の問題点を洗い出し、それを基板として仮地図作成に取りかかった。人が多い場所で誰が見てもわかりやすいように工夫されていると考えられる駅地図やショッピングモールなどの地図を参考に、立体的でなく、また掲載情報を最小限にした地図を作ることを目標とした。



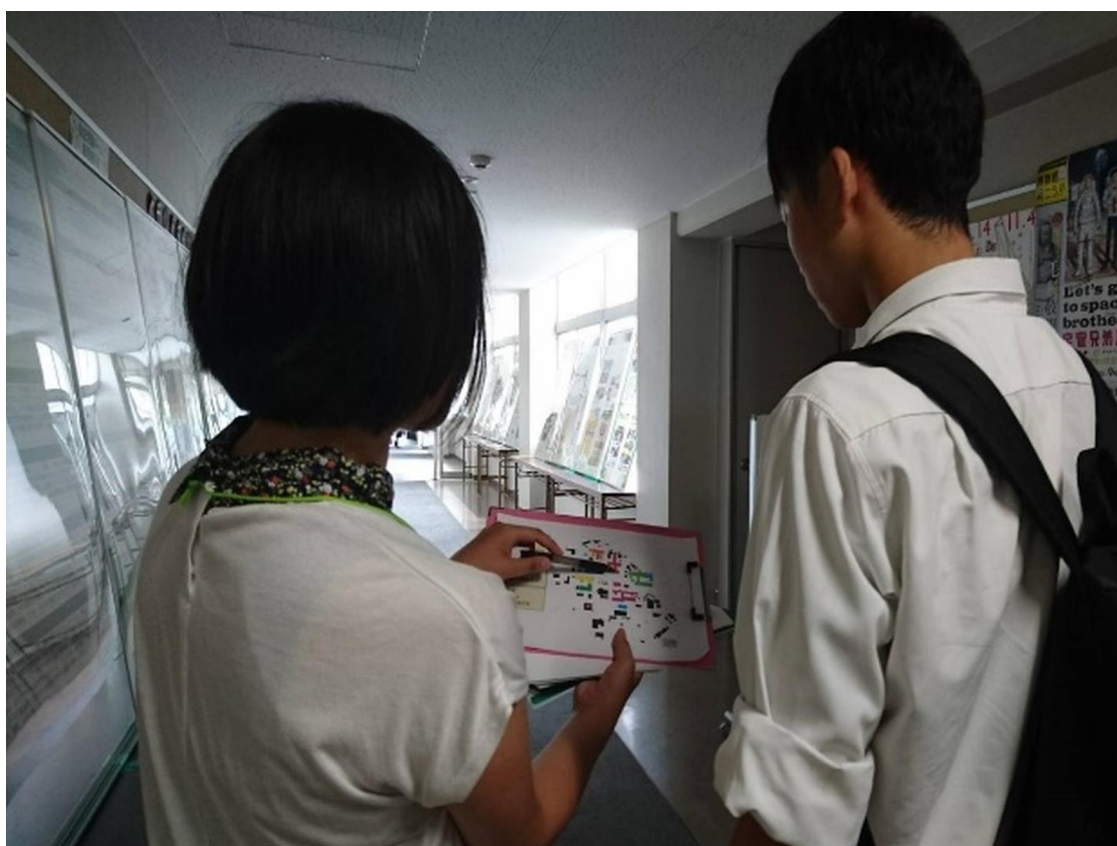
仮地図

3.3 「オープンキャンパス」における学内案内の実施

事前に入試課から活動許可を得て、学生自主活動ルームおよびその前の廊下にて案内による来学者のアクセシビリティ支援と試験的な地図の運用による仮地図の品質向上を目的に学内案内を実施した。

構成員とボランティアを含め、5人で活動を行い、案内の所要時間を一人おおよそ15分として1時間に20人対応できるようにした。ボランティアを含め、構成員は大学のビブスを身につけることを原則とし、イベント当日までにオリエンテーションを複数回行い、トラブルのないように努めた。

当日、構成員は来学者に道を訪ねられた場合はもちろん、自主活動ルーム内外でお困りの来学者を発見した場合も主体的に声をかけ、案内を申し出た。その際、「よければ、目的地までご案内します」などと提案し、目的地までの同行を希望するかどうかを伺い、また案内の道中には、目的地に関する情報提供などを行い来学者の不安解消に尽力した。最終的に総勢45人の方に学内案内を提供することができ、たくさんの「ありがとう」の感謝の声をいただくことができた。また、「オープンキャンパス」での学内案内活動に参加してくれた構成員からの感想には、「初めは足踏みして声を出せなかったが次第に自分から話しかけられるようになった、次回はもっと積極的に声をかけられるよう頑張りたい」、「人の役に立てることが嬉しかった」など、前向きな意見が寄せられた。今回の活動は構成員のコミュニケーション能力向上にも繋がったと考える。



学内案内活動実施中

3.4 「ホームカミングデー」における色塗り企画

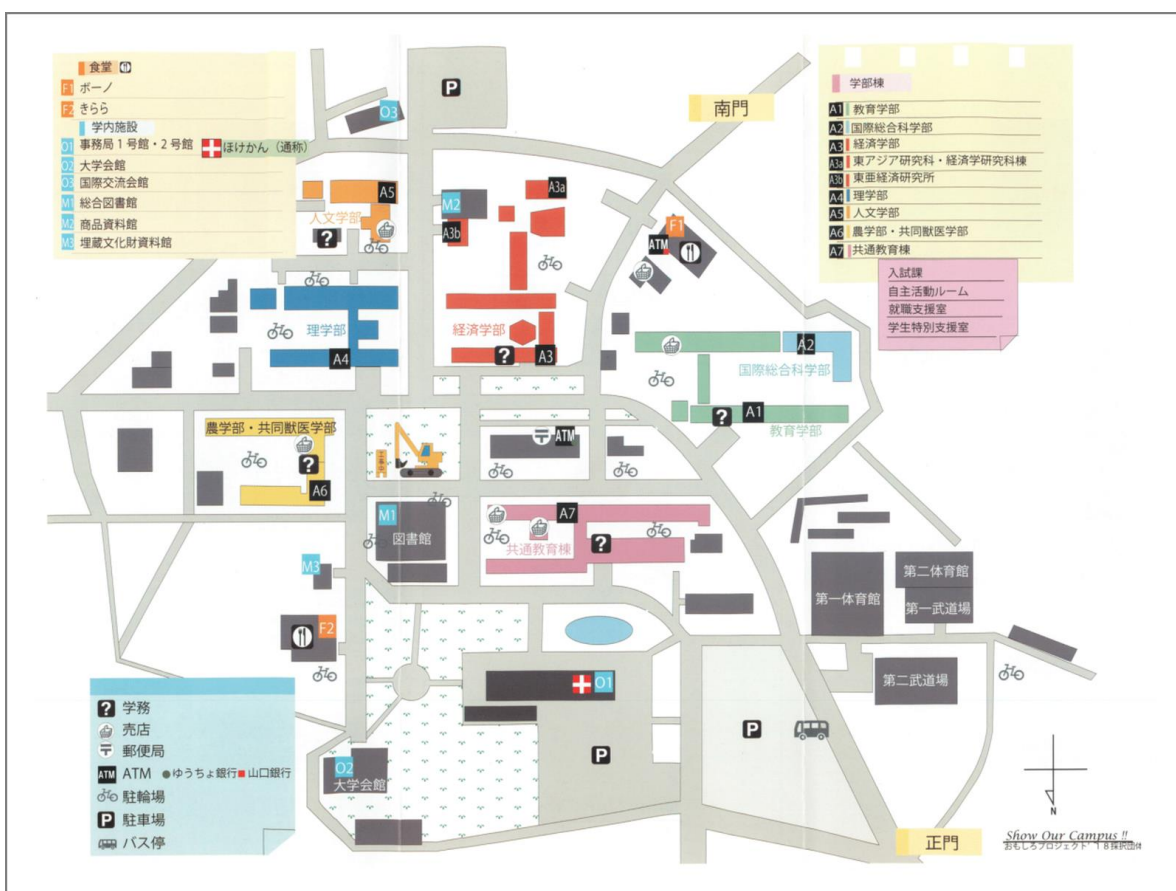
地図の品質向上のため、見やすい色の調査として私達が作成した色の塗っていない状態の地図を用いた色塗りコーナーを設営した。線画のみの地図を用いて行った大学地図の色塗りコーナーには多くの子ども達の参加があった。子ども達は地図を思いおもいの色で染めあげ、素敵な大学地図を完成させていた。その固定観念に囚われない自由な色使いは私達にはない発想で「おもしろい地図」の一つの形を見たように思う。また、意見交換会を通じて、色の見え方のアドバイスなど、他のプロジェクトの方々から地図に対する客観的な批評を伺うことができ、地図を今後どのように改善していくかの糸口が見えた。

3.5 リールフレットの作成

山口大学で1日過ごすのであれば必要になるであろう大学の主要施設の情報をまとめたものを表紙とし、完成した地図とあわせて表裏のリーフレットを作成した。5,000部ものリーフレットを印刷し、各所にリーフレット設置の交渉を行った。



色塗り企画実施中



完成地図

3.6 リーフレットに関する交渉

リーフレットに関する交渉成果として広報課において高等学校の生徒向け大学紹介の配布資料として 1,500 部使用していただけることになった。また入試課では「オープンキャンパス」にて総合案内所でリーフレットを配布していただけることになった。その他、新入生配布資料として使用していただいたり、図書館、保健管理センター、自主活動ルームにリーフレットの設置許可をいただいたり、さらに大学内で行われる講演会のポスターの地図にも使用していただいた。また、ネットから地図にアクセスできるよう「山口大学おもしろプロジェクト」の成果物として山口大学公式ホームページの一つである「自主活動ルーム」のページに地図を掲載していただいた。慣れない交渉に手間取ることが多々あったものの、たくさんの方のあたたかいご支援、ご協力により私達の作成した地図を広く配布することができた。

4. プロジェクト成果

1年間を通じて、「オープンキャンパス」などのイベントにおいて学内案内を実施し汎用性の高い地図の作製に取り組み、初めて大学を訪れる来学者が目にしやすい環境に地図を広く配布することで、学内の移動に関わる利便性の向上、不安解消に寄与することができたとしてこのプロジェクトを完了したとする。

5. プロジェクト達成状況

以下の項目をプロジェクトの実施予定項目として掲げ、いずれも達成することができた。

- ・ 現在配布されている地図の調査
- ・ 学内視察
- ・ 仮地図の作成
- ・ 仮地図の実用性の調査
- ・ 入試課へ「オープンキャンパス」での活動許可願提出
- ・ 「オープンキャンパス」での学内案内活動の実施
- ・ 地図の再検討
- ・ 「ホームカミングデー」の参加
- ・ 地図の再検討
- ・ 裏面の作成
- ・ 印刷業者に依頼
- ・ マップの普及